

地区広報 芸術の森

第22号

平成24年3月30日

発行 地区広報・芸術の森
編集委員会

印刷 (株) 辻孔版社

題字 平澤 博



厳寒とインフルエンザを克服し 雪あかりの祭典も無事終了しました

芸術の森地区連合会 会長 関 口 明

長期に亘る寒さも終わりを告げ、春近しを感じる季節となって参りましたが、皆様にはお変わりなくお過ごのこととお喜び申し上げます。

◆今年度を締めくくる雪あかりの祭典など、冬期間のイベントも無事終えることができました。寒さの中イルミネーションの飾り付けをはじめアイスキャンドルやローソクづくりなどに励まれた皆様に心より感謝しております。何れの会場もインフルエンザの流行で、人出は例年をやや下回りましたが、イベントの内容は一層充実したものとなっていました。

◆明年度で第18回を迎える文化祭の開催場所を、手狭となった芸術の森地区会館より札幌市芸術文化財団芸術の森にお世話になる予定です。芸術の森のご好意に感謝し、より発展させるよう務めたいと考えております。

◆真駒内川の改修工事も終わりに近づいてきました。2箇所あった落差工もなくなり、サクラマスが上流まで遡上するようになったのを機に、本年より稚魚である山女魚の放流を予定しています。



平成23年度の総括と新年度へ向けて

芸術の森地区社会福祉協議会 会長 堀川昭八

日頃 皆様には、地区社会福祉協議会事業について、暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

国内的に東日本大震災そして“終息まで数十年”とされる原発事故問題等が続くなか、被災地の方々には心からのお見舞いを申し上げます。反面、私達の芸術の森地区は大過の無い年明けとなりましたこと、皆様共々お喜び申し上げたいと思います。

今年度は、計画した諸事業について滞りなく進めら

れたほか、新企画として高齢者向けの“料理教室”を開催し、関係者の評価からも“意義ある事業”として、今後につなげたいものと考えております。

新年度活動につきましては、もちろん年度当初の総会を経て決定されますが、好評の子育て支援部活動等恒例諸事業の積極的推進に努めてまいりたいと考えておりますので、新計画策定にあたり、より確かなご助言・ご協力をお願いして、おそまきながら新年のご挨拶にもかえさせていただきます。

<p>—くつろぎの宿— 駒岡 札幌市保養センター</p> <p>パークゴルフ場 4/21OPEN 9ホール1回り 60才以上・小学生 150円 中学生以上60才未満 200円</p>	<p>宿泊・入浴・休憩・宴会・ パークゴルフ(屋内・屋外) 熱帯植物館・マージャン ※無料送迎バスあり (10名様以・要予約)</p>	<p>日帰り料金</p> <table border="1"> <tr> <td>60才以上</td> <td>300円~</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学生以上</td> <td>400円~</td> </tr> <tr> <td>60才未満</td> <td></td> </tr> </table>	60才以上	300円~	小学生		中学生以上	400円~	60才未満		<p>宴会プラン</p> <p>日帰り 2,000円~ 宿泊 5,000円~</p> <p>※10名様以上より承ります</p>
60才以上	300円~										
小学生											
中学生以上	400円~										
60才未満											
<p>さくら御膳 6,500円~</p> <p>1泊2食 ※4月まで暖房料が別途かかります</p>		<p>TEL 011-583-8553 FAX 011-583-8574 札幌市南区真駒内600番地20 指定管理者 札幌市福祉事業団</p>									



23年度の活動報告及び24年度の抱負

芸術の森地区青少年育成委員会 会長 前 口 敦 司

地域の皆様方におかれましては日頃当委員会の活動にたいしまして格別のご理解とご協力をいただき心より感謝いたします。

23年度も残りわずかとなりました。23年4月より新たに4人の委員が加わり活動を始めて、早いもので1年が経とうとしています。新委員さんも委員会活動にすっかり慣れ、精いっぱい活動して頂いています。

さて本年度の事業報告ですが、新事業のサマーレクリエーション（7月下旬）、常盤中学校アイネットワーク共催の教育フォーラム（10月）、南区少年少女親善スポーツ大会（11月・石山東小優勝）、交流もちつき大会（12月・動員数250名）、小学生スキー教室（1月・参加者36名）、地域のお手伝いとして森の仲間の三世代交流会（9月）、芸術の森音楽祭（11月）、南区成人

式（1月）、祭事のパトロール（随時）等々どの事業も地域の子ども達と一緒に活動できました。特に南区少年少女親善スポーツ大会では昨年を上回る5チームを結成でき、それぞれのチームが熱戦を繰り広げました。また、小学生スキー教室では申し込みをし易くしたことによって大勢の参加を頂きました。

当委員会は本年度をもちまして設立15年になります。2月3日にはOB会を行い大勢の諸先輩方に参加頂き懐かしいお話しや今後の活動の参考になるご意見をいただきました。

24年度も委員全員が一致団結して活動を進めて行きます。

活動の際には地域や保護者の方々の一層のご理解と御協力をお願い致します。24年度もガンバります！

●防犯防災部から●



安心安全なまちづくりに向けて

防犯防災部長 山 本 悟

平成23年度中に私たちの身近で起きた不審情報は、5月のアートパークタウンでの児童への声かけ、7月のサンブライト地区での児童への声かけ事案が起きておりますが、幸いいずれも大事には至っておらず、その他私達の生活を脅かすような大きな事案は起きておりません。今後も子どもに対する注意喚起や「いかのおすし」の徹底、子どもの見守り活動、不審者情報の警察や学校等への通報についてご協力をお願いします。

一方、相変わらずお年寄りをターゲットとした「振込め詐欺」や「悪徳商法」が横行しております。このような事件に合わないためにも次の事を心がけましょう。

- ・口座番号や暗証番号などの個人情報を容易に答えない。
- ・警察官や金融機関を名乗る人が来たら、警察手帳や身分証明書で確認する。
- ・不審な電話や訪問を受けた時は警察に通報する。

また、地震や火災など大規模災害発生の直後など一刻を争うときは、行政による支援は期待できません。自らと家族の安全を確保する「自助」と近所や地域の人たちが共に助け合う「互助」の考え方方が不可欠です。そのためにも日頃から近隣の方々と絆を深めておきましょう。

入所サービス
ショートステイ



みなさまの想いにおこたえいたします

医療法人 愛全会
介護老人保健施設

〒005-0849 札幌市南区石山837-47

0120-348-365

みんな しあわせ 365日



通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ



●交通安全部から●

この広報誌が皆様の手元に届く頃には、雪もすっかり消えて新たな気持ちで新年度をお迎えのことと思います。

私として、この一年を振り返ると、去年の四月に連合会の交通安全部長に任命され、もう一年になりますが何も出来ないうちに一年が過ぎたように感じております。特に啓発活動の大切さは認識していますが、具体的行動となるとなかなか良いアイディアは出ず前年の踏襲になってしまいます。なにか良いアイディアがありましたらご意見をいただきたいと思います。

私はやはり子供の頃から家庭や学校の中での、交通安全教育を通じ命の大切さを教えることが大事ではないのかと思う最近です。

これから新一年生が通学の時期を迎えますが、家庭での注意はもちろん地域全体で子供たちの安全を見守り、事故の無い地域づくりには皆様のご協力が欠かせないとと思っております。

最後になりましたが、芸術の森地区では交通安全指導員が不足しており、特に常盤小学校

交通安全部長 金 子 侑

校区には現在一名しかおらず、子供達の通学時の安全見守りにも支障が出ている状態です。ご協力いただける方は、まちづくりセンターまでご連絡願います。

子供達や高齢者の安全を地域全体で支えあうまちづくりのためには、皆様のご協力が不可欠です。よろしくお願ひいたします。



●環境衛生部・女性部共催●

**出前
講座**

「ごみの減量とリサイクル」盛況でした！

環境衛生部・女性部共催出前講座「ごみの減量とリサイクル」は去る11月22日14時から、芸術の森地区会館で約50名が出席して開催されました。

講師として南清掃事務所池田勝普及担当係長以下3名を迎える、H21年7月からのごみ収集分別化開始、H22年7月迄の1年間で燃えるごみでは前年比34%・廃棄ごみ全体では38%の減量が実績として表れており、燃えるごみでは家庭での食べ残しの水分を減らすことにより、H23年度は更に減量が図れること、ごみの個別収集は現状より3.1倍回収費用が掛かり財政負担上無理であることが指摘されました。

H23年4月から「雑紙」の分別化開始によりダンボール・新聞紙・雑誌が「雑紙」として扱えなくなり、ダンボール等は町内会・学校等の集団資源回収に出すこと、回収をしていない地区は区役所・まちづくりセンター・セイコーマート等へ持参可能であること、これにより回収が大幅に減量されたこと等を講義とスライ

ドで研修しました。

又芸術の森地区町内会の各ごみステーションのごみ分別排出や「雑紙」排出は南区や札幌市他の地区に比べ非常に良いとの現場を巡回しているゴミパト隊の評価も頂きました。

さらに、ダンボールによる家庭での堆肥作成もスライドと池田係長の説明でも大変分かりやすく、自宅での挑戦を考えた参加者も多かったと思われます。

その他、11月3日行われた道道真駒内・滝野線で行った不法投棄回収活動では、大型テレビ・スプリングベッドをはじめ1.7tもの大量回収をこの場で報告すると、驚きの声が上がるほどでした。

1時間という短い研修でしたが、「外でのダンボール堆肥化でネズミが入った対策」をはじめ、質問も多数寄せられ、大幅な時間延長という意義ある研修会となりました。

福祉推進委員会は今

芸術の森地区福祉のまち推進センター

運営委員会委員長 塩崎典男

福祉推進委員会は何をするところなのでしょうか。

答えは、ズバリ、隣近所で困っている人を見守り、支える活動をする、ボランティア組織と考えています。

困っている人とはどんな人なのかと言えば、高齢者で一人住まいの孤立している人や、病弱な人、認知症の気配のある人、又子育てに不安を抱える人や、日常生活に不安を抱える人々を指していると言えます。

このような人々を見守るために、活動者が歩いていける範囲が良い条件であり、町内会の班単位くらいが見守り圏と考えられます。

では、福祉推進委員会の活動者の成り手とは誰なのでしょうか。

福祉推進委員会の活動は町内会単位で行いますので、町内会の役員や民生委員、児童委員、福祉推進委員、老人クラブや、福祉活動に理解のある方々がメンバーと

して考えられています。

芸術の森地区福祉のまち推進センター運営委員会は発足後3年を経過しようとしていますが、石山東町内会、駒岡団地町内会、常盤団地町内会、アートパークタウン町内会に加え、今年度、常盤一区町内会にも福祉推進委員会が設立され、13町内会の内5町内会に福祉推進委員会が設置され、福祉活動が実施されています。

1町内100世帯以上の世帯をもつ町内会には、是非福祉推進委員会を設立していただき、町内の見守り活動を強化していただけるよう更に働きかけをしてまいります。

又、100世帯以下の町内会に対しては、町内会の福祉部を中心に見守り活動を実施してもらえるようお願いしてまいりたいと思っております。以上

▶ 平成23年度 森の仲間のさわやかクラブ ハツラツ介護予防 ◀

高齢者支援部長 目次 敬 紀

この行事は、芸術の森地区社会福祉協議会・福祉のまち推進センターが主催して、芸術の森地区町内の高齢者の方、健康に関心のある方等を対象に、「自身の身体的な現状を等を確認し、健康づくり・介護予防に対する興味・関心を高める」ことを目的として行っているものです。

- 内容は； 1. 講演……認知症予防、介護予防教室、健康体操、など
- 2. 体力測定……5m歩行、片足立ち、握力測定、体重・身長計測、血圧測定
- 3. 生活機能チェック……生活機能チェックリスト、物忘れチェック
- 4. 判定・相談……保健師、看護師、福祉士等の専門士が結果等に基づいて一人ずつに健康相談を行う

以上の4項目です。

実施に当たっては、各町内会の役員・福祉推進委員・福祉部等の方々、および南区第一包括支援センター、介護予防センター石山・芸術の森、南区保健福祉部の方々の協力を得て開催しています。

今年度は、

1. アートパークタウン町内会 23年7月31日
2. 石山東町内会 23年9月27日
3. 見晴町内会、常盤二区町内会 23年11月16日
4. 常盤一区町内会 23年11月29日

以上の4回、開催・実施（参加者総数130名）しました。

なお、2月29日、当行事の実施について「意見を聞く会」が開かれ、参加者の皆さんから“意義ある事業”との声もきかれましたので、継続実施を予定しております。健康づくり、認知症・介護予防策に向け、今後とも多数の参加・ご協力をお願い致します。



「ふれあい」を基調に企画実践されている事業を単位町内会別に紹介するシリーズ第7回目はアートパークタウン町内会です。

アートパークタウン町内会

町内会長 金子 侑

アートパークタウン町内会は、1989年（平成元年）10月に町内会が設立され、一昨年の2010年（平成21年）に創立20周年を迎えました。2003年（平成15年）には、隣接地に分譲された「アートビレッジ」（現「あゆみの丘」）が当町内会に加入となり、現在では約450世帯を越える規模になっています。

連合会の中では比較的新しい町内会ですが、その中でユニークな事業、活動を紹介します。

(1) 春の一斉清掃＋懇親会（5月）

木々の若葉が繁り公園のあちこちに花が咲き始めた5月下旬に、町内の一斉清掃を行います。自宅の回りも公園もきれいになり、一汗かいた後は、常盤公園に集合して焼き肉で懇親会を行っています。数年前からは、公園清掃に参加してくれた子ども達にささやかなプレゼントを渡しています。新旧会員、子どもから高齢者まで、とても良い懇親の機会になっています。



春の一斉清掃＋懇親会

(2) 花苗植込み（6月）

町内の主要な通りにある歩道脇の花壇に花苗を植えています。春から秋まで色とりどりの花が咲き、通るのが楽しくなります。



花苗植込み

(3) 高齢者日帰り研修旅行（9～10月）

60歳以上の方を対象に、希望者を募って日帰り旅行行事を行っています。最近はパークゴルフが人気です。



高齢者日帰り研修旅行

(4) 女性部懇親会（12月）

日頃、各種行事を支えてくれている女性部のなかで「女性部のための行事」として毎年12月を行っています。しめ縄飾りやエコクラフト（紙の材料での籠作り）等の講習会を行い、紅茶とケーキも付いている楽しい催しです。



女性部懇親会

(5) サンタが家に

やってくる（12月）

サンタさんにクリスマスプレゼントを届けて欲しいお家に、本当にサンタさんが来てくれます（！？）



サンタが家にやって来る

(6) 子供会クリスマス会と餅つき大会（12月）

幼児と小学生を対象に、町内会館でゲームやbingo大会を行っています。お父さん達が臼と杵でついてくれた餅を、お母さん達が雑煮やいそべ餅、きなこ餅にしてくれて、みんなでいただきます。子供用の杵もあり、全員が餅つきを体験できます。



子供会クリスマス会と餅つき大会

(7) なまごみ減らし隊

町内の有志で、なまごみの減量と堆肥化しての活用をめざして2003年（平成15年）に発足しました。現在では、町内4箇所の街区公園の草刈り等の管理、有機肥料（堆肥）の有効活用による共同菜園の運営等にも活動を広げ、環境に優しい街作りに貢献しています。



なまごみ減らし隊

(8) 広報誌「森のしづく」発行（年4回）

1996年（平成8年）に「アートパークタウンニュース」として創刊され、第4号からは「森のしづく」という誌名となり、今までに第38号を数えています。町内行事の紹介や、趣味、エッセイなど、町内会員の交流のきっかけとなるような軽らかい広報誌をモットーとして、年4回くらいのペースで発行しています。

札幌芸術の森

今年も広い園内を利用して6項目のイベントを行いました。当日はかなり気温が低いながらも天候に恵まれ、野外美術館・アートホールをはじめ、芸術の森園内は多くのお客様で賑わっていました。特に「もちつき大会」「すべり台」にはお子さんをはじめとして多くの方がいらっしゃいました。当日訪れた人は1,100名程でした。



関口雄揮記念美術館



夕方にキャンドルに点灯をして、カフェでココアを頂きながらジャズ演奏を楽しみました。



常盤児童会館

子供たちがキャンドルを手作りして、アイスキャンドルの点灯式を行いました。非常に寒いなかでも子どもたちは元気に楽しんでいました。その後豚汁で体を温めました。



札幌市立大学



正午からアリーナで常盤中学校の吹奏楽部の演奏でオープニング、服飾サークルのファッショニショウ、ダン

芸術の森地区 雪あかり

「住んでよし、訪れてよし」をコンセプトに、《札幌シーグラウンド》として位置付けている「芸術の森地区 雪あかりの祭典」

「雪あかりの祭典」

- 1月28日：芸術の森地区（札幌芸術の森・関口雄揮記念美術館）
- 2月4日：札幌市立大学（ARTOU）
- 2月4・5日：南老人福祉センター＆石山緑地
- 2月5日：まちづくりセンター＆常盤1号橋
- 2月11日：保養センター駒岡（こまおか冬まつり）
- 2月16・17日：駒岡小学校：（スノーフェスティバル）

スサークルのダンスショウなど19時頃まで行いました。出店・フリーマーケット・写真部の写真展もありました。正面玄関からグラウンドまでたくさんのアイス・スノーキャンドルを設置して、夕方点灯式を行いました。点灯式には瀬川南区長もお見えになり、たまたま降り出した雪の中での学生の奮闘をご覧になっていました。また、ぶた汁・ココアのサービスもあり、たくさんの方が寒さに一息ついていました。



南老人福祉センター

（見晴町内会と共に）初日は「雪あかりの祭典」、2日目は「スノーフェスタ」として子供を中心とした雪中ゲームを行



いました。アイスキャンドル・スノーキャンドルなどは、昨年よりすばらしいもので、製作に1ヶ月、延べ500人が携わったそうです。アイス・スノーキャンドル等は総数2,070個、滑り台2基、雪像9基、だるま54基、フラワー氷柱10基などです。来る人来る人「きれ





ニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート》の活動の一環は、今年も無事終わることができました。

れました。

□雄揮記念美術館・常盤児童会館)

地地区（雪あかりの祭典・スノーフェスタ）

つり)
ティバル）



いネー」「すばらしいネー」と感嘆の声を上げていました。豚汁、甘酒、ポップコーン、汁粉、じゃがいも塩煮などが振る舞われていました。



保養センター駒岡



今年で4回目を迎えました。屋内会場では冬季間休んでいる「もりの仲間のこまおか朝市」の10店舗が出店。「雪あかりコンサート」では、札幌光星高校吹奏楽部、北大男性合唱団、橋本流地獄太鼓の演奏などが行われました。また、大じゅんけん大会、屋外では、雪だるマンコンテスト、アイスキャンドル点灯。そして、豚汁・コーンスープの提供もあり、楽しい1日を過ごしました。



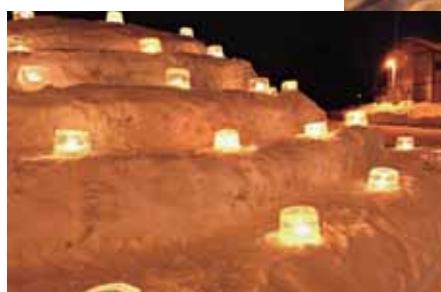
駒岡小学校

初日、午前中は歩くスキーで思いっきり汗をかきました。午後からはスノーフェスティバルの開会式を行い、「みずなら班」（1年生から6年生までの縦割りのグループ）で作った雪像発表会。夜は6時頃から餅つき大会を行い、1年生から6年生まで全員が餅をつきました。また、今年入学予定の新1年生も杵を振いました。餅を頂いた後、スノーキャンドルの中で夜遊び会を行いました。このイベントには、市の親善大使「ゆきだるマン」、保護者、地域の方々、そしてSTVの取材もありました。



まちづくりセンター&常盤1号橋

今年初めてまちづくりセンター前と常盤1号橋のたもとにアイスキャンドルを設置し、点灯して「雪あかりの祭典」の仲間入りしました。小規模でしたが、今後大きくして皆さんに楽しんで頂けるようにしていきたいと思っています。



今年は、1月から真冬日が続いて、どの会場も美しいアイスキャンドルが出来ていました。が、3学期が始まったころからインフルエンザが流行したり、会期中は寒さも厳しかったこともあり、集客には今一つという気がしました。

福祉を支える人

菅原 公仁朗 氏



プロフィール

昭和31年3月、広島県で出生
昭和54年、広島工業大学（建築）卒
同年、陸上自衛隊に入隊（2等陸士）
平成22年、陸上自衛隊を定年退官
同年、北海道振興株式会社に就職

真駒内川のせせらぎに春の気配を感じ、早朝、清々しい空気の中を散歩するのが気持ち良い季節になりました。

ところで、この冬も（特に年末年始）雪に悩まされました。いくら除雪をしても、きりがありませんでした。こんな中で、朝早くからバス停留所や横断歩道周辺を黙々と除雪してくれたのが、「この年齢になって、スキノから朝帰りをするようになりました。」と言って笑う菅原さんです。

一人暮らしのFさんがお礼を言うと、「3丁目のバス停は、家族みんなが利用させてもらっているし、体力練成を兼ねて、町内の皆さんへの感謝の気持ちからさせて頂いてます。」と、偉ぶることもなく、サラリと言つて帰られるそうです。また、「除雪をした後の『小さな達成感や充実感』が楽しいんです。」とも言われるそうです。

夏は、ゴミや煙草の吸殻を拾ってくれている菅原さんから、「煙草を吸われる方は、『割れ窓理論』の観点から安全・安心・快適な生活環境の為に、是非とも携帯用の吸殻入れを使って頂きたい。」という、お願いがありました。

石山東2丁目（見晴町内会）在住。妻と子供の4人暮らし。ちなみに、空沼岳の登山道整備が趣味（？）とのこと。

もりの仲間の子育てサロン

子育て支援部長 三上 良子

親子の元気な笑い声が響きます。人生の先輩達の優しいまなざしが子供達に注がれます。平成17年に開設して今年で8年目となります。平成24年度の開催日が決まりました。0歳から就学前のお子様とパパ・ママ！是非おいで下さい。おもちゃ・本、充実しています。開催場所、芸術の森地区福祉のまち推進センター（南老人福祉センター内）。



12月 サンタさんありがとう



2月 雪の滑り台って楽しい



2月 鬼こわいよ！



2月 おひなさま作ったよ

平成24年度開催日 毎月第1・第3水曜日(原則)10:00~11:30

4月4・18／5月2・16／6月6・20／7月4・18／
8月1・15／9月5・19／10月3・17／11月7・21／
12月5・19／1月9・16／2月6・20／3月6・13／

真駒内川改修工事再開される

真駒内川を考える会 会長 関口 明

真駒内川改修工事は去る10月3日、平成23年度2期工事内容の説明会がされました。（工事内容は以下の通りでした）

工事区間 常盤1号橋迄の300m

工事期間 平成23年9月16日～平成24年3月21日

施工者 株式会社日栄建設

今回の工事は掘削工事、護岸工事が主体ですが、しかし、10月21日の北海道新聞29面で9月4日からの大雨による斜路工6カ所の破壊を報道され工事は停止しておりました。

発注者の札幌建設管理部では、早急に今後の工事方法を検討するとし、12月1日「真駒内川対策協議会」（以下協議会）、12月15日の専門家による「真駒内川河床低下対策検討会」（以下検討会）を開催し、河道計画案の一部がまとめられ、12月16日から常盤一号橋迄の300mのうち160mの工事を再開いたしました。工事は順調に進捗しており、「平成24年度には残り140mの工事も進めたい」としています。

又、大雨で破壊された石山東3～6丁目迄の5か所

(No.3～7斜路工)の応急工事については2月3日～3月29日迄、工事業者（株）北海メンテナンスで、工事内容も「根固めブロック工、袋型根固工」を実施されております。

更に2月27日の「第2回検討会」には「水位と流量」・「高水流量と確率規模評価」・「河床勾配の変化」・「地質調査結果及び地質情報の整理」等其々の専門家による説明と質疑・意見交換があり、3月21日開催予定の「第3回検討会」には更に煮詰めた説明・質疑・意見交換も期待されます。

河床低下対策工事は2～3年は掛かると推測されますが、斜路工補修工事・上流改修工事。遊歩道を含めた整備工事の早急な再開のお願と共に、完成を早やめてほしいと願うものです。

工事現場及び資材搬入・土砂排出道路付近住民の皆様には工事延長によりここしばらく生活にご不便をお掛けすることになりますが、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



第40回 南区少年少女親善スポーツ大会

青少年育成委員会

昨年11月20日(日)南区体育館において、南区少年少女親善スポーツ大会(ドッヂボール)を開催しました。

南区内小学校各地区の30チームが、中学年と高学年の2グループに分かれて、トーナメント方式により白熱した試合が展開されました。

芸術の森地区からは、常盤小学校(常盤YES)2チーム、石山東小学校(石山バイソンズ)3チームの計5個チームが参加しました。

高学年の部では、準決勝で常盤YES-Aチームと石山東バイソンズAチームが争う形となり、常盤YES-Aチームが決勝に進みましたが、決勝で藻岩南に僅差で敗れてしまいました。

結果は、高学年の部で常盤YES-Aチームが準優勝、石山バイソンズAチームが第3位、中学年の部は石山バイソンズJr.チームが優勝しました。

選手の皆さん、また指導していただいた監督・コーチの皆さんお疲れ様でした。



Fu'sで「初心者スキー教室」開催

青少年育成委員会

1月14日、今年も藤野のFu'sスキー場において、小学生を対象にしたスキー教室を開催しました。当日は晴天でしたが、今年一番の寒さの中、参加した駒岡小、石山東小、常盤小の子供たち総勢44名は、元気いっぱいに、コーチの指導を受けていました。午前中滑れなかった子も午後からは滑れるようになり、子供達の上達振りには



目を見張るものがありました。将来、このスキー教室の受講生からオリンピック選手が出て欲しいと思うしたいです。



交流もちつき大会

青少年育成委員会

昨年12月11日(日)常盤児童会館で、交流もちつき大会を行いました。

子供たちは、餅つき体験で良い経験をし、また美味しいお餅をお雑煮、お汁粉、黄な粉、納豆、おろし大根など好きな食べ方を選び、お代わりをしながら美味しそうに食べていました。

今年は、南区親善スポーツ大会中学年の部で石山東バイソンズJr.チームが優勝したので、紅白餅をついてお祝いをしました。

また、来年も楽しい時間を過ごしに参加してください。お待ちしております。



お手伝いしてもらった子供たち、地域の皆さんどうもありがとうございました。来年もまたよろしくお願ひします。

パークリング大会

芸術の森東地区スポーツ振興会

2月26日(日)石山東小学校体育館で、地区の皆さん90余名が参加し、第5回パークリング大会が行われました。

6レーンのコースで、大人(中学生以上)の部は各コース4チームのリーグ戦とし、1回戦・2回戦・決勝戦(順位決定戦)を行い、「優勝」は駒岡団地・伊東四郎ご夫妻・斎藤章吾さんチーム、「最高得点」も同チームでした。

子供の部は、16名の参加で個人戦を行い、石山東小学校5年の原田壮太くんが優勝しました。

なお、昨年まで室内ゲートボール場で実施しましたが、諸般の事情により会場を変更いたしました。

当日は吹雪模様の日でしたが、館内は一球一打に皆さんの歓声で盛り上がり、例年どおり楽しき一杯の大会となりました。



ななくさ 七種(草)

正月七日の「七草粥」を過ぎると、ますます夜明けの早さを感じます。

古歌に「せり、なづな、ごぎょう、はこべら、仮の座、すずな、すずしろ、これぞ七種」とあるとおり、この七草には誰が考へてもこの季節に似つかわない、手に入らないものがあるのではないかとの疑問をずっと持ち続けながら、ただその日がくれば目の前に出された粥を啜ってまいりました

そういうばいつか「今はデパートばかりでなく、近くのスーパーにでも、ちゃんと（七草を）揃えたものを売っているのでらくなものの、以前は色々な野菜をいれて七草の“本物”づくりに苦労しました。昔雪国では牛蒡とか干柿なども入れ（て七草とし）た話を聞いています。」と語ったわが連れの話で、ようやく逝って40年にもなる明治生れの母親にも聞けなかった“七草の疑問”が解けたのを思い出し、今年もまた啜り続けたのでした。

七草粥を、決してその日の食卓に欠かすことのなかつた母、そしてそれを引き継いだようにこれまた50数年の間続けてきた連れ。

大袈裟になりますが、七草粥のならわしそのままに「長寿と幸福」が、ご近所の皆さん共々長続きすることを念じて止まないところです。

標題が「七種」ですので、ついでに「秋の七種」を、ここまでと同じものの本により簡単に書きおいてみましょう。ただ秋の七草は、ご承知の通り春の七草と違い、「見て楽しむもの」とされています。

「秋の野に先たる花をおよび折り

かさかぞふれば七種の花」(山上憶良)

萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 藤袴
朝顔の花 (H)

お知らせ

芸術の森地区まちづくりセンターからホームページとブログを利用し地域のニュースを発信しております。ぜひご覧下さい。

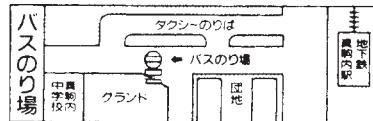
<ホームページ・アドレス>
<http://www.geimori.com/>

<ブログ・アドレス>
<http://geimori2.blog101.fc2.com/>

無料

見学・墓参バス運行中

時間 午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00



真駒内滝野霊園

札幌市許認可霊園

お問い合わせ・
お申込みは

真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223 (代表)

～おめでとう～

○南区クリーンさっぽろ衛生推進協議会会長表彰

(清掃ボランティア実践者) (平成23年11月25日)

サンライト真駒内 青木 鉄雄 様
駒岡団地 鈴木 幸子 様

○札幌市クリーンさっぽろ衛生推進協議会会長表彰

(地域環境美化活動の功績) (平成23年11月25日)

真駒内三団 田中 勝雄 様

芸術の森地区連合会主要構成団体等総会日程

構成団体	総会日
芸術の森地区連合会	4月21日(土)
芸術の森地区青少年育成委員会	4月14日(土)
南区老人クラブ連合会第7ブロック	4月17日(火)
芸術の森地区連合会 女性部	4月19日(木)
芸術の森地区社会福祉協議会	5月12日(土)
芸術の森地区交通安全運動推進委員会	4月12日(木)
クリーンさっぽろ芸術の森地区委員会	5月21日(月)
芸術の森地区東スポーツ振興会	5月19日(土)
常盤体育振興会	5月12日(土)

編集後記

今年度は、22年度末（3月11日）の「東日本大震災」から続く「原発問題」と、加えて不確かな政情等もあって、いって見れば忙しい1年がありました。

明年度も決して“落ち着いた歩み”は期待できないのかもしれません、こんな時期こそわが身（まちづくりセンターの自主運営に入り足かけ3年目）を振り返り、初心を忘れずよりよい地域づくりに、皆で協力し合おうではありませんか。

新年度も、ご投稿ご協力、よろしくお願い致します。

(堀川)

広報「芸術の森」編集委員会

委員長	堀川 昭八	委員(監査)	馬場 宏
副委員長	三上 良子	委員	島田三千春
委員(会計)	佐藤 宗昭	委員	火山 正己